

経営比較分析表（平成29年度決算）

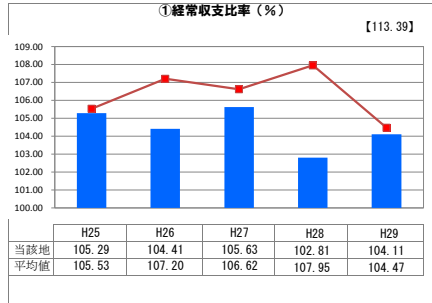
岡山県 奈義町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	74.80	98.00	4,310	

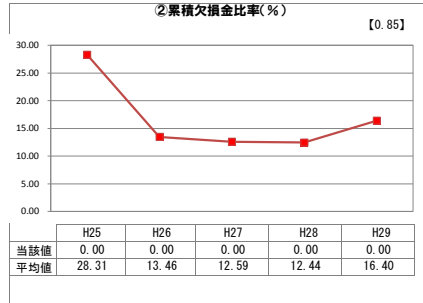
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,118	69.52	88.00
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
5,778	31.00	186.39

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 平成29年度全国平均

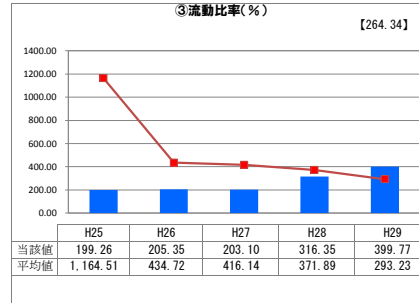
1. 経営の健全性・効率性



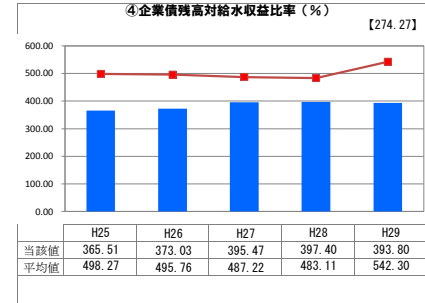
「経常損益」



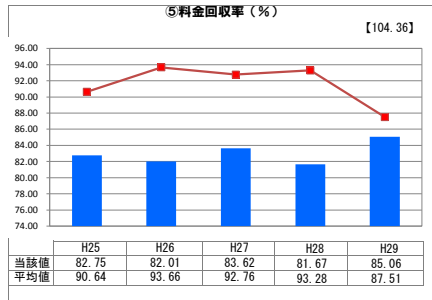
「累積欠損」



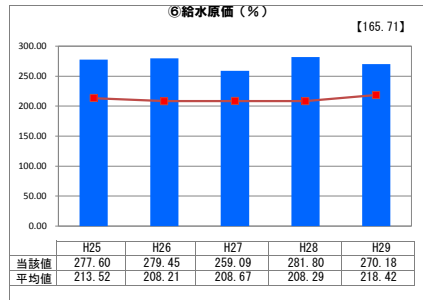
「支払能力」



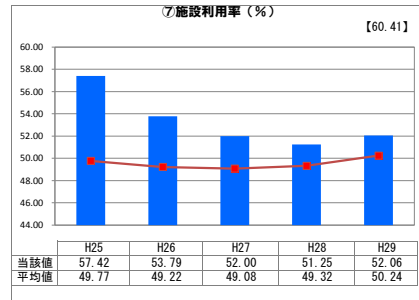
「債務残高」



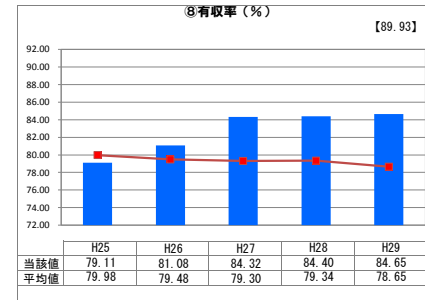
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

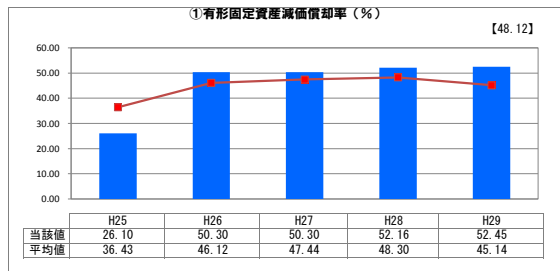
分析欄

1. 経営の健全性・効率性について
 ・経常収支比率 料金回収率 減価償却や資産減耗費等の経常費用が下がったため増加したが、他会計補助に依る所が大きいため、経常費用を抑える等の経営努力を続けていく必要がある。
 ・流動比率 流動負債が下がったため増加したが、収率率を上げる等、安定的な経営継続に努める。
 ・企業債残高対給水収益比率 有収率 給水原価 今後も、財政規模に応じた施設・管路等の更新等、適切な時期に漏水調査を行って有収率の維持をする等、上水道の安定供給に努める。
 ・施設利用率 配水量の増加により上がったものの、自衛隊員の大規模な異動に伴う、給水人口の減少は避けられないため、今後の状況把握が必要となる。

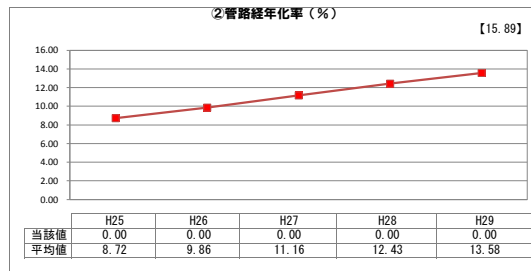
2. 老朽化の状況について

・有形固定資産減価償却率 増加傾向にあるものの、施設の修繕や管路の布設替え等、適切な修繕と更新を組み合わせる維持管理していく必要がある。
 ・管路更新率 年次計画により、老朽化する管路を順次布設替えを行っている。防衛の補助事業に依り実施している所が大きく、年度比較すると更新率に差異が生じている。

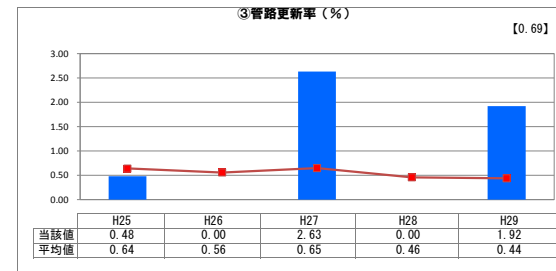
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

全体備考

料金回収率は低いものの、これ以上水道料金の値上げは理解が得られにくい状況にある。また、人口減少に伴い経常収益の維持も難しい状況にあるため、経常費用の見直し等、策定している経営戦略を踏まえた改善を図る余地がある。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。